

第4回青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会 次第

日時 令和元年11月19日(火)

午後1時30分～

場所 大栄農村環境改善センター

会議室2・3

1 開 会

2 会長挨拶

3 報告事項

4 議 事

(1) 提言書(案)について(P.4～13)

5 その他

(1) 喫緊の課題と対策について(P.16、17)

6 閉 会

青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会委員名簿

氏 名	役 職 等	備 考
竹歳 和博	由良宿自治会長会会長	自治会
山橋 敬一	北栄町観光協会会長	観光協会（請願者）
角田 芳夫	北栄町商工会副会長	商工団体（請願者）
澤田 廉路	株式会社地域資源活用研究所代表取締役 元鳥取大学地域学部特命准教授（地域再生担当）	学識経験者
吉村 和真	京都精華大学副学長兼マンガ学部教授 京都精華大学国際マンガ研究センター研究員	学識経験者
蓑 豊	兵庫県立美術館館長 金沢 21 世紀美術館特任館長	展示施設
清水 裕美子		公募委員
藤木 智美		公募委員
田中 文	北栄マンガ寺子屋倶楽部部員	その他町長が必要と認める者（請願者）
濱口 国彦	由良宿まちづくりの会理事	その他町長が必要と認める者（請願者）
山岡 憲樹	特定非営利活動法人とっとり希望化計画 2 1 理事長	その他町長が必要と認める者
後藤 芽唯	北栄町地域おこし協力隊（「コナンの聖地」観光地づくり担当）	その他町長が必要と認める者

《オブザーバー》

所 属	役 職	氏 名
鳥取県まんが王国官房	官房長	森田 美穂

《事務局》

所 属	役 職	氏 名
北栄町	副町長	手嶋 俊樹
北栄町	地方創生監	渋谷 潤
北栄町観光交流課	課 長	松本 裕実
北栄町観光交流課観光戦略室	室 長	永田 裕一
北栄町観光交流課観光戦略室	主 事	竹歳美穂子
北栄町観光交流課観光戦略室	主 事	宍戸 史歩
青山剛昌ふるさと館	館 長	石田 敏光

青山剛昌ふるさと館の施設のあり方検討の進め方

◆平成31年度（令和元年度）

時期	青山剛昌ふるさと館の施設のあり方検討委員会	その他
4月	検討委員会設置要綱の制定・施行 公募委員2名募集（4月25日～5月24日）	
5月		
6月	第1回（6月11日）場所：北栄町中央公民館大栄分館 ・現状説明、進め方、会長選出 ・ふるさと館施設見学	
7月	第2回（7月9日）場所：北栄町大栄農村環境改善センター ・課題抽出、解決策の検討（視察、アンケートの説明）	【アンケート調査】 ・ふるさと館入館者
8月		【アンケート調査】 ・町民意識調査
9月	視察研修 ・委員をコース別に3班に分けて視察（各班に職員が随行） ⇒視察後のレポート提出	【9月議会】 ・補正要求（アドバイザー旅費等）
10月	第3回（10月17日）場所：北栄町大栄農村環境改善センター ・視察内容の報告、解決策の集約 ・提言書案（コンセプト）の検討	
11月	第4回（11月19日）場所：北栄町大栄農村環境改善センター ・提言書案の検討 ・喫緊の課題と対策についての検討	
12月		
1月	第5回（1月23日） ・提言書の最終確認	
2月		
3月	・提言書を町へ提出	

◆令和2年度

- ・前年度にまとめた方針に従い、施設整備の基本構想について検討、提言。
（役割と機能、整備方針、運営方針等）

経済効果について

平成30年度観光客入込動態調査結果より

日帰宿泊・費用別一人当たり観光消費額単価

(単位:円)

区分	項目	1人あたりの消費単価	入館者数	金額	合計
県内客(日帰)	土産代	4,457	9,517	42,418,299	1,211,921,292
県内客(宿泊)		3,972	807	3,203,597	
県外客(日帰)		5,828	18,228	106,232,300	
県外客(宿泊)		7,985	132,757	1,060,067,096	
県内客(日帰)	交通費	384	9,517	3,654,617	233,081,181
県内客(宿泊)		912	807	735,569	
県外客(日帰)		762	18,228	13,889,673	
県外客(宿泊)		1,618	132,757	214,801,323	
県内客(日帰)	宿泊費		9,517	0	1,996,980,417
県内客(宿泊)		14,376	807	11,594,891	
県外客(日帰)			18,228	0	
県外客(宿泊)		14,955	132,757	1,985,385,526	
県内客(日帰)	飲食代	1,164	9,517	11,078,057	572,124,793
県内客(宿泊)		1,959	807	1,580,022	
県外客(日帰)		1,866	18,228	34,013,293	
県外客(宿泊)		3,958	132,757	525,453,421	
県内外客	入館料		161,309		83,692,200
合計					4,097,799,883

・観光消費額(推計) 約40億円

※算出にあたっては、鳥取県観光客入込動態調査における平均消費額に、入館者アンケートより算出した入館者数を乗じて試算した。

喫緊の課題と対策について

1. 青山剛昌ふるさと館に関すること

①入場時の混雑緩和

- ・現在の出入り口の外側にチケット売り場専用の別棟を設置する。
- ・券売機を導入する。チケットに入館時間を記し、入館の入れ替え制をとる。
- ・特に混雑するGW中は、インターネットで前売り券を販売する。
→夏休み期間中、整理券配布による入館受付時間の分散を計画した。
チケット売り場や券売機等の設備導入については、新築・増改築の際に検討する。
- ・年間パスポートを販売する。
→来年度に向けて、回数券の導入を検討している。

②館内の利便性の向上

- ・コインロッカーの設置
→現状ではロッカーを設置するスペースがないため困難である。
- ・有料の手荷物預かりコーナーの設置。→今後、検討する。
- ・多言語表記の案内板の設置。
→現在、英語、韓国語、中国語（繁体字）に対応している。今後、スマートフォンアプリを活用した展示ガイド等の導入を検討する。

③インバウンド観光客への対応

- ・通訳の配置（繁忙期に留学生バイトを雇用）
→現在は、タブレットの翻訳アプリ等を活用してインバウンド観光客へ対応している。
通訳の配置については、アルバイトを募集しても応募がない可能性が高く、継続的に通訳を確保できるかどうか不透明。

④ミュージアムショップの充実

- ・館敷地屋外に、簡易カフェもしくは移動式ワゴン販売（飲食、お土産）のスペースを確保。
→夏休み期間中や連休中は、探偵団広場をフリーマーケット会場とし、移動販売車等による軽食を販売している。
- ・季節感のあるグッズ（夏は水を使ったグッズ、冬は暖を取れるグッズ）を販売する。
→ニット帽や手袋などの季節感のあるグッズを販売している。引き続きグッズの充実に努める。

⑤ミュージアムショップの利便性の向上

- ・レジでの支払いで、スマホが使えるようにする。
→現在、クレジットカード決済・電子マネー決済を導入している。
設備の関係上、QRコード決済・スマホ決済は行っていない。専用端末の導入が必要となり、支払方法に応じて専用端末が複数必要となると設置を踏み切れない。

⑥ミュージアムショップの混雑緩和

- ・レジを出口側にも配置する（売店を通して退館する動線）
→夏休み期間中は、通常2ヶ所あるミュージアムショップの出入口を1ヶ所にしぼり、ショップ内の混雑緩和に取り組んだ。
レジ設備については、ネット配線の関係上、移動させることは難しい。

⑦お客様に楽しんでいただける仕掛けづくり

- ・館内の音楽をコナンのテーマ曲にし、区切りの時間（正午など）は工夫した音楽や効果音を使う。
→館内の音楽はコナンのテーマ曲を流している。効果音等については検討する。
- ・お祭りの屋台のような出店（宝探し、コナンのキャラクターすくい、綿菓子、人形焼など）
→ハロウィンやバレンタインデー、ホワイトデー限定で館内クイズ等を実施し、正解者に缶バッジ等のノベルティをプレゼントするイベントを行っている。
コナンキャラクターを使用したイベントやお菓子制作などは、著作権元の許諾が必要なため、契約外の内容については実施が難しい案件もある。
- ・誕生日の方に招待ポストカードを送る。
→誕生日の方に招待ポストカードを送るのは人数も莫大なため、実施が難しい。
- ・誕生日は入館無料、誕生日の前後は入館料の割引、同行者割引を設定するなどの工夫をする
→現在は、誕生日当日に入館されると、入館料無料と缶バッジプレゼントの特典がある。誕生日の前後の方にも缶バッジをプレゼントしている。

⑧二次交通の整備

- ・由良駅～青山剛昌ふるさと館の間でマイクロバス運行（片道100円程度で）
→令和元年10月1日より、民間のバス会社2社によりJR由良駅～青山剛昌ふるさと館間を結ぶ路線バスの運行が開始された。
上り下り各8本運行。JR由良駅～青山剛昌ふるさと館間の運賃は170円。

2. コナンのまちづくりに関すること

①インバウンド観光客への対応

- ・コナン通りにおける外国語表記サインやwi-fi、徒歩客のための休憩所の整備
→コナン通りに設置している案内看板は多言語化している。コナン通りのwi-fi整備は費用面と防犯上、実施が難しい。徒歩客の休憩所として、東屋や長椅子をコナン通り沿いに数ヶ所設置済み。

②コナンのまちづくり

- ・web会議システムを活用し、様々な方面（コナンファン、旅行関係者など）から意見を吸い上げる。
→コナンのまちづくりについて、意見交換する場として、年2回北栄町まんがのまちづくり企画実行委員会を年2回開催している。
Web会議の開催には至っていない。

経済効果について

当日配布資料

青山剛昌ふるさと館入館者アンケートより

一人当たり観光消費額単価

(単位:円)

区分	項目	1人あたりの消費単価	入館者数(H30実績)	金額	合計
国内	青山剛昌ふるさと館内 で購入したグッズ・お 土産代	3,753	143,977	540,345,681	648,549,357
インバウンド		6,243	17,332	108,203,676	
国内	青山剛昌ふるさと館外 で購入したグッズ・お 土産代	4,720	143,977	679,571,440	804,829,804
インバウンド		7,227	17,332	125,258,364	
国内	交通費(切符代・ガソリ ン代・高速道路料金な ど)	18,436	143,977	2,654,359,972	3,102,340,176
インバウンド		25,847	17,332	447,980,204	
国内	宿泊費	23,848	143,977	3,433,563,496	3,834,712,636
インバウンド		23,145	17,332	401,149,140	
国内	食事・飲み物代	9,647	143,977	1,388,946,119	1,598,923,299
インバウンド		12,115	17,332	209,977,180	
国内 インバウンド	入館料		161,309		83,692,200
合計					10,073,047,472

・観光消費額(推計) 約100億円

※算出にあたっては、入館者アンケートより算出した平均消費額に入館者数を乗じて試算した。